

新フェローの紹介

岩田 覚 (いわた さとる) 氏

昭和 43 年 11 月生れ

〔学歴〕 平成 5 年 東京大学
大学院工学系研究科修了 (理
学博士)

〔職歴〕

平成 6 年 京都大学数理解析
研究所助手

平成 9 年 大阪大学大学院基
礎工学研究科講師

平成 12 年 東京大学大学院工学系研究科助教授

平成 13 年 同大学院情報理工学系研究科助教授

平成 18 年 京都大学数理解析研究所助教授

平成 20 年 同教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 第 29 回文献賞 平成 13 年度, 「ア
ルゴリズム」研究部会主査 平成 15~18 年度

〔著書等〕 離散構造とアルゴリズム VI (共著, 近代科
学社), 応用数理計画ハンドブック (共著, 朝倉書
店), 学術論文 50 編, 研究発表多数

岩田氏は, 離散最適化の分野で研究活動をされており, 特に劣モジュラ関数最小化アルゴリズムに関する研究では, 本学会文献賞の他, 日本 IBM 科学賞, Fulkerson 賞を受賞されております。また, 本学会においては, 「アルゴリズム」研究部会の主査を務められるなど, 研究交流活動の促進と次世代研究者の育成に尽力されています。

上野 信行 (うえの のぶゆき) 氏

昭和 23 年 12 月生れ

〔学歴〕 昭和 49 年 大阪大
学大学院工学研究科修了 (工
学博士)

〔職歴〕

昭和 49 年 住友金属工業(株)
入社

平成 5 年 同社システム統括
部次長兼情報化推進室長

平成 8 年 同社和歌山製鉄所システム部長

平成 13 年 広島県立大学経営学部教授



平成 17 年 県立広島大学経営情報学部兼大学院総合
学術研究科教授, 現在に至る

〔OR 学会関係〕 第 11 回事例研究奨励賞 平成 3 年
度, 関西支部運営委員 平成 5~6 年度, 機関誌編集
委員 平成 5~7 年度, 論文誌編集委員 平成 8~10
年度, 中国四国支部運営委員 平成 16 年度~現在,
代議員 平成 16~19 年度

〔著書等〕 企画スタッフのための戦略課題解決へのア
プローチ (共著, 日本鉄鋼連名), 学術論文 14 編, 研
究発表多数

上野氏は, 住友金属工業(株) OR 研究グループに配属
以来 18 年間企業において OR の実践活動に従事され,
生産と経営の多岐にわたる分野において OR 技術を活
用した課題解決と普及に努められました。この経験をも
とに, 大学においては地元企業との産学連携による
多くの共同事例研究を進められています。本学会にお
いては, 機関誌編集委員, 論文誌編集委員等を歴任さ
れその活動を支えておられます。

大鏑 史男 (おおい ふみお) 氏

昭和 25 年 4 月生れ

〔学歴〕 昭和 53 年 大阪大
学大学院工学研究科応用物理
学専攻博士後期課程中退 (工
学博士)

〔職歴〕

昭和 53 年 大阪大学工学部
助手

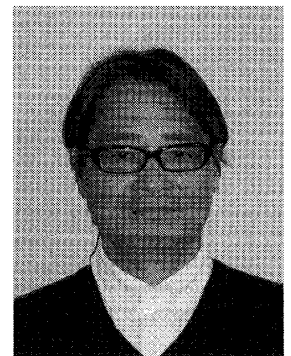
平成元年 愛知工業大学工学
部助教授

平成 7 年 名古屋工業大学工学部助教授

平成 12 年 同大学院工学研究科教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 中部支部幹事 平成 4~5 年度・平
成 12~13 年度, 中部支部運営委員 平成 6~11 年
度・平成 14~17 年度, 代議員 平成 14~16 年度, 無
任所理事 平成 17~18 年度, 中部支部副支部長 平
成 18~19 年度, 中部支部支部長 平成 20 年度~現在

〔著書等〕 Stochastic Reliability Modeling, Optim-
ization & Applications (分担執筆, World Scientific,
2009), 工科のための確率・統計 (数理工学社, 2005



年), フラクタル幾何学の技法 (共訳, シュプリング
ー東京, 2002年) 他, 学術論文 39 編, 研究発表多数
大鏑氏は, 現在セルオートマンの理論と応用につい
て精力的な研究活動をされており, その成果を国内外
の専門誌, 研究会等で発表されております. 本学会に
おいても, 代議員, 理事等を歴任され, また, 長年に
わたり中部支部の活動を支えておられます.

久保 幹雄 (くぼ みきお) 氏

昭和 38 年 3 月生れ

〔学歴〕 平成 2 年 早稲田大
学大学院理工学研究科博士後
期課程修了 (工学博士)

〔職歴〕

平成 2 年 早稲田大学助手

平成 5 年 東京商船大学専任
講師

平成 6 年 同助教授

平成 15 年 東京海洋大学助教授

平成 19 年 同准教授

平成 20 年 同教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 第 28 回普及賞 平成 15 年度, 研究
普及委員 平成 3~5 年度, 代議員 平成 16~19 年度

〔著書等〕 巡回セールス問題への招待 (朝倉書店),
ロジスティクスの基礎 (税務経理協会), 組合せ最適
化とアルゴリズム (共立出版), ロジスティクス工学
(朝倉書店), 応用数理計画ハンドブック (朝倉書店),
メタヒューリスティクスの数理 (共立出版) 他, 論文
88 編, 研究発表多数

久保氏は, 組合せ最適化ならびにサプライ・チェイ
ン最適化の分野で精力的な活動をされており, 特
に実務と理論の融合に対する顕著な業績と社会におけ
る OR の認知に大きな役割を果たされた貢献により,
本学会普及賞を受賞されています.



鈴木 敦夫 (すずき あつお) 氏

昭和 33 年 2 月生れ

〔学歴〕 昭和 58 年 東京大
学大学院工学研究科計数工
学専攻修士課程修了 (工学
博士)

〔職歴〕

昭和 58 年 東京大学工学部
助手

昭和 61 年 南山大学経営学
部講師

平成 2 年 同助教授

平成 10 年 同教授

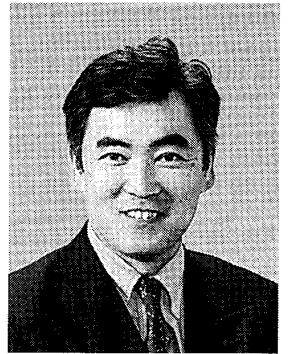
平成 12 年 同数理情報学部教授

平成 21 年 同情報理工学部教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 第 31 回実施賞 平成 19 年度, 研
究普及委員 昭和 58~60 年度・平成 11 年度, 中部支
部幹事 平成 5~6 年度, 中部支部運営委員 平成
8~19 年度, 代議員 平成 14 年度~現在, 論文誌編
集委員 平成 16~19 年度, 中部支部副支部長 平成
20 年度~現在

〔著書等〕 最適配置の数理 (共著, 朝倉書店), 学術
論文 32 編, 研究発表多数

鈴木氏は, 最適配置問題の分野で研究活動をされて
おり, その成果を国内外の専門誌に発表されていま
す. また, 最近では, OR を用いて南山大学での業務
改善にも取り組んでおられ, 平成 19 年度には第 31 回
実施賞を南山大学 OR チームとして受賞されていま
す. 本学会においては, 各種委員, 代議員, 中部支部
運営委員等を歴任され, その活動を支えておられます.



中井 達 (なかい とおる) 氏

昭和 27 年 7 月生れ

〔学歴〕 昭 56 年 大阪大学
大学院基礎工学研究科博士後
期課程退学 (工学博士)

〔職歴〕

昭和 56 年 大阪府立大学総
合科学部助手

昭和 62 年 神戸大学教養部
助教授

平成 3 年 九州大学経済学部助教授

平成 8 年 同教授



平成 12 年 同大学院経済学研究科教授

平成 20 年 千葉大学教育学部教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 関西支部運営委員 平成元年度～2 年度, 論文誌編集委員 平成 18 年度～現在

〔著書等〕 不完備情報の動的決定モデル (九州大学出版会, 1996), 「政策評価—費用便益分析から包絡分析法まで—(ミネルヴァ書房, 2005), 「経済数学—微分積分編—(ミネルヴァ書房, 2008), 経済数学—線形代数編—(ミネルヴァ書房, 2008), 学術論文 39 編, その他の学術論文 36 編, 研究発表多数

中井氏は, 確率的な多段決定問題の最適政策と最適政策のもとで得られる最適解, 特に確率的逐次割り当て問題, 最適選択問題, 動的なシステムにおけるジョブ・サーチ, 公的部門における支出の問題を多段決定モデルとした逐次支出モデルなど, 最適停止問題を一般化した不完備情報の多段決定問題における最適政策と最適値に関する研究をされております。

仲川 勇二 (なかがわ ゆうじ) 氏

昭和 24 年 7 月生れ

〔学歴〕 昭和 54 年 京都大学大学院工学研究科博士課程修了 (工学博士)

〔職歴〕

昭和 54 年 学術振興奨励研究員

昭和 55 年 高松工業高等専門学校講師

昭和 63 年 岡山理科大学工学部助教授

平成 6 年 関西大学総合情報学部教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 関西支部運営委員 平成 11 年度～現在, 評議員 平成 12～13 年度

〔著書等〕 査読付論文 51 編, 研究発表多数

仲川氏は, 主として複数の制約条件を持つ非線形ナップザック問題の解法アルゴリズムの開発を長年にわたり行ってこられました。約 10 年前に, 代理制約法を用いて非線形ナップザック問題を解く際に障害となる代理ギャップの問題点を解決し, 1000 変数規模の問題を厳密に解くことに成功され, このとき用いた標的解列挙法を非凸計画問題と多目的最適化に適用し, また金融工学, マーケティング, 信頼性工学等に応用し海外でも高い評価を受けておられます。

野末 尚次 (のずえ なおつぐ) 氏

昭和 18 年 3 月生れ

〔学歴〕 昭和 41 年 東京大学工学部計数工学科卒業

〔職歴〕

昭和 41 年 日本国有鉄道 鉄道技術研究所入所

昭和 46 年 同主任研究員

昭和 62 年 (財)鉄道総合技術研究所転籍

平成 2 年 同輸送システム評価研究室長

平成 7 年 同技術開発事業本部技師長

平成 10 年 (株)ニューメディア総研 技師長

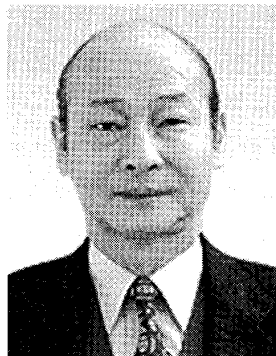
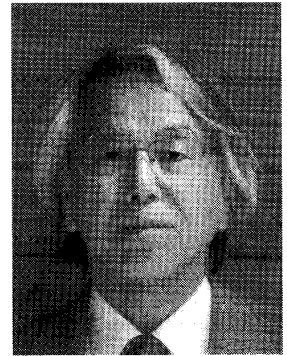
平成 12 年 (株)数理モデリング研究所設立 現在に至る

この間, 電気通信大学客員教授, 東洋大学, 青山学院大学非常勤講師, (財)鉄道総合技術研究所リサーチアドバイザーを兼任

〔OR 学会関係〕 機関誌編集委員 昭和 54～55 年度, 研究部会主査 平成 4～6 年度, 研究グループ幹事 平成 7～8 年度

〔著書等〕 数値計算ハンドブック (共著, オーム社), 数学ハンドブック (共訳, 森北出版), 論文・解説・研究発表多数

野末氏は, 鉄道総合技術研究所において, 交通計画や鉄道輸送計画問題に対して OR 理論をベースとしたアルゴリズム, それに基づくソフトウェアおよび専用のグラフィックス・インターフェースを開発することにより多くの分野のソフトウェアや意思決定支援システムの受託開発を行ってこられ, その成果により情報化促進貢献個人運輸大臣表彰を受けられました。アカデミックな OR に対して, 実務的な意思決定の視点から OR 理論の有用性を強く訴えられており, 最近では制約プログラミングの応用・普及に尽力されています。



藤野 直明 (ふじの なおあき) 氏

昭和 37 年 6 月 生 れ

〔学歴〕 昭和 61 年 早稲田
大学理工学部物理学卒業
(工学博士)

〔職歴〕

昭和 61 年 (株)野村総合研究
所鎌倉研究本部入社, 研究創
発センター上席研究員等を経
て, 現在同ビジネスイノベー

ション事業部長 上席コンサルタント

〔OR 学会関係〕 研究普及委員 平成 14~15 年度,
研究普及理事 平成 16~17 年度, 情報コミュニケー
ション委員 平成 16 年度, 広報委員 平成 17 年度,
企業フォーラム企画委員 平成 17~19 年度, 代議員
平成 18 年度~現在

〔著書等〕 サプライチェーン経営入門 (日本経済新聞
社, 1999), サプライチェーン・マネジメント—企業
間連携の理論と実際—(共著, 朝倉書店, 2004), 他

藤野氏は, 株式会社 野村総合研究所においてサプ
ライチェーン・マネジメント関連分野の実務的な研究,
コンサルティングに従事されており, 特に, いわゆる
制度改革の設計を含む総合的なサプライチェーン・
マネジメント革新を企画, 設計し大きな成果を挙げて
おられます。本学会においては, 各種委員, 理事, 代
議員を歴任され, その活動を支えておられます。

宝崎 隆祐 (ほうざき りゅうすけ) 氏

昭和 30 年 1 月 生 れ

〔学歴〕 平成 3 年 神戸大学
大学院博士課程システム科学
専攻修了 (学術博士)

〔職歴〕

昭和 53 年 海上自衛隊入隊

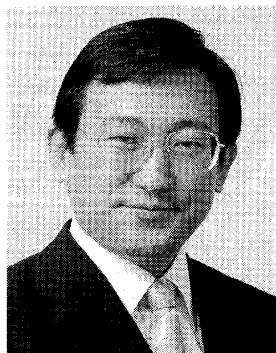
平成 4 年 防衛大学校応用物
理学教室講師

平成 5 年 同助教授

平成 16 年 同情報工学科教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 RAMP シンポジウム実行委員 平
成 6 年, OR 事典編集委員 平成 12・18 年, 「防衛と
安全」研究部会主査 平成 19 年度~現在

〔著書等〕 探索理論—探索オペレーションの数理—



(共著, 三恵社), 査読付学术论文 60 編以上, 研究発
表多数

宝崎氏は, 生産管理, 最適化理論の研究の他に, 探
索理論の分野での研究, 教育に力を注がれています。
近年では探索ゲームに関して精力的に研究されており,
平成 14 年に The Military Operations Research
Journal Award を受賞されています。現在「防衛
と安全」研究部会の活動を通じて, 防衛や安全対策,
災害対策に対する OR の適用を模索されています。

森田 浩 (もりた ひろし) 氏

昭和 36 年 1 月 生 れ

〔学歴〕 昭和 63 年 大阪大
学大学院工学研究科応用物理
学専攻博士後期課程単位取得
退学 (工学博士)

〔職歴〕

昭和 63 年 大阪府立大学総
合科学部助手

平成 3 年 大阪市立大学商学
部講師

平成 5 年 神戸大学工学部講師

平成 8 年 同助教授

平成 11 年 同大学院自然科学研究科助教授

平成 13 年 大阪大学大学院工学研究科助教授

平成 14 年 同大学院情報科学研究科助教授

平成 17 年 同教授 現在に至る

〔OR 学会関係〕 関西支部運営委員 平成 5 年度~現
在, 研究普及委員 平成 11~14 年度, 関西支部幹事
平成 15~16 年度, 論文誌編集委員 平成 16~19 年度,
「評価の OR」研究部会主査 平成 18~20 年度

〔著書等〕 経営効率評価ハンドブック (共訳, 朝倉書
店), 学术论文 41 編, 研究発表多数

森田氏は, 確率的計画法を中心とした不確実性下
における最適化, 生産スケジューリング, データ解析,
DEA による評価手法などの研究をされており, 特に
システム最適化や意思決定問題に関して確率的変動を
伴う不確実性や多様で複雑な環境下における多基準型
意思決定などを念頭に, 理論的な研究から現実問題へ
の応用までさまざまな問題に取り組んでおられます。
本学会においては, 各種委員, 研究部会主査, 関西支
部運営委員等を歴任され, その発展に貢献されてい
ます。

